

石 南國教授・原 剛教授の退任を記念して

本号は、城西大学大学院 経済学研究科の発展に多大の貢献をされた石 南國教授と原 剛教授のお二人の長年の労を称え、ご退任を記念して刊行されたものであります。

本経済学研究科は経済学部経済学科を基礎として、1978年4月、他大学に先がけて「経済政策専攻」（修士課程）として発足いたしました。以来、理論経済学・経済史・経済政策学・産業経済論・地域開発論・財政学・金融論・統計学・社会政策学などの9研究分野を設定するとともに、外国人留学生や社会人を積極的に受入れつつ、世界に通用する高度専門職業人の育成に力を注いできました。

その結果、本学の大学院経済学研究科（経済政策専攻 修士課程）学位取得者の進路は、大学教員・高等学校教諭・税理士・起業家など、高度専門職業人として国内外の各方面において活躍しています。このように、本研究科が教育・研究活動の両面で今日の隆盛を示すに至ったのも、石 南國教授と原 剛教授のご尽力の賜物と言っても過言ではありません。

石 南國教授は、函館大学商学部助教授、同大学商学部教授を経て、1979年4月に城西大学の経済学部教授・大学院経済学研究科兼任教授として本学に赴任され、本年3月のご退任時まで本研究科では「人口論特修」、 「経済政策学特修」、 「経済統計学特修」、 ならびに「演習」をご担当されました。この間、経済学部経済学科主任（1982年4月～85年3月）、経済学部長（1985年4月～89年3月）、経済学研究科長（1987年4月～91年3月、および92年4月～98年3月）などの要職を歴任されました。

原 剛教授は、東京都立北野高等学校教諭、東京都立豊島高等学校教諭を経て、1985年4月に城西大学の経済学部助教授として本学に赴任され、91年から経済学部教授に就任されました。この間、1987年4月より大学院経済学研究科を兼任し、本年3月のご退任時まで本研究科では「近世経済史特修」、 「特殊講義」、 ならびに「演習」をご担当されました。特筆すべきは、原 剛教授が大学院経済学研究科資料室の図書資料の収集・整備に多大な貢献をされた点であります。

両教授のご業績の詳細については、「石 南國教授、原 剛教授略歴・業績」の項

に譲りますが，両博士の教育・研究活動に対する真摯な姿勢に改めて敬意を表するとともに，今後の益々のご健勝とご活躍を祈念し，ここに「石 南國教授・原 剛教授 退任記念号」を捧げます。

2002年3月

経済学研究科長 大島 卓